

反共は戦争前夜の声 立憲野党共同の前進をめざして

マルティン・ニーメラーの言葉

ナチが共産主義者を襲ったとき、自分はやや不安になった。けれども結局自分は共産主義者でなかったので何もしなかった。それからナチは社会主義者を攻撃した。自分の不安はやや増大した。けれども自分は依然として社会主義者ではなかった。そこでやはり何もしなかった。それから学校が、ユダヤ人が、というふうに次々を攻撃の手が加わり、そのたびに自分の不安は増したが、なおも何事も行わなかった。さてそれからナチは教会を攻撃した。そうして自分はまさに教会の人間であった。そこで自分は何かをした。しかしそのときにはすでに手遅れであった。

戦前ドイツのキリスト者マルティン・ニーメラーの言葉を胸に宗教者が戦前、傍観者として、戦争協力してしまった痛恨の反省をもとに、新たな戦前を迎えている今日、各地で市民連合と共に立憲野党共同の前進のため努力している各地の宗教者に報告をいただき、来たるべき総選挙で立憲野党の共同が前進し、改憲・大軍拡を阻止していくことができるよう決意を固め合いたいと思います。

ご参加をお待ちしています。

2023年10月19日（木）14：00～15：30

参議院議員会館 B102会議室

◎石川勇吉（浄土真宗僧侶）さんと小野文瑠（群馬諸宗教者の集い代表）さんの報告

◎各党国会議員の方々から連帯のご挨拶をいただきます。

☆コロナ対策を万全にしてお集まりください。

主催 平和をつくり出す宗教者ネット

共催 基地のない沖縄をめざす宗教者の集い

連絡先 090-6711-5573（江上）

ファックス 03-3461-9367